

■教科研究部■

「わかった・できた・学び合おう～主体的・対話的で深い学びの授業を目指して～」

本校の研究主題「わかった・できた・学び合おう～主体的・対話的で深い学びの授業を目指して～」をうけて、教科研究部会では2年前から算数科で研究を行っている。計算領域について各学年での確認テストや児童向けの学習アンケートを行う。昨年度、課題解決学習に関係する質問については、「よくできた」「できた」という回答が全体的に多かったが、算数を「知りたい」という意欲はあるのに、「好き」という児童が少なかった。その原因を分析し、好きではない児童に対する手立てを考え、授業をより工夫していく。

学校全体で同じ方向を向いて研究していけるよう、ある程度同じような授業の流れを「スタンダード」として作っていく。その中で「わかった」「できた」「学び合おう」という子どもたちの姿が見られるような授業を目指していく。計算力という基礎基本の技能をどの子にも同じように力をつけさせることでスタートラインをそろえ、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」のある授業の流れを、教職員全員の共通認識の上で作っていく。

■総合的な学習研究部■

「シンキングツールを使う・広める・深める ～どの子にもわかりやすい授業を目指して～」

昨年度、研究テーマである「わかった、できた、学び合おう」の実現に向けて、シンキングツールの実践に力を入れて取り組んできた。今年度もそれを継続させ、課題を決め、それについて調べ、まとめ、発表するといった展開のある学習の中で、シンキングツールが思考の助けとなるよう活用していく。

具体的には、探究的な学習という意識を指導者側がしっかりと持ちながら、メインカリキュラムとのつながりを明確にし、ゴールを最初から立てて取り組んでいく。その中で、シンキングツールを全学年で総合的な学習の時間や生活科で積極的に活用し、どの子にもわかりやすいツールとして広めていく。さらにツールが他の教科で活かされるような、少路小学校の定番ツールとして位置づくよう研究を進める。

■外国語活動・外国語科研究部■

「話そう・聞こう・伝え合おう～Let's Listen, Talk, and Communicate!～」

外国語を聞くことから始まり、外国語に日常的に触れることによって、もっと外国語を使って「話してみたい」「話そう」とし、そこからいろいろな世界の人々や文化に興味を持ち、つながって「伝え合おう」とする子どもを育てたいと考える。

そのために、昨年度までは子どもたちが興味を持てるような教材を作り、それを教室掲示したり、授業公開をしたりして、子どもたちが主体的に活動できるような授業づくりを提案してきた。今後も小中連携や校内研修などを通して、単元の目標に合った授業を構成することやクラスルームイングリッシュもどんどん取り入れながら活動を行う。

今年度も積極的に子どもたちが活動できるような外国語活動・外国語科の研究を目指していく。そのためには、子どもたちが楽しいと思えるような教材研究や教材づくりをし、英語ルームの環境を整えていきたい。また、小中連携を図り、系統性のある学習内容を構築していく。

■人権教育研究部■

「自分も友だちも大切に 安心できる集団作り」

本校の子どもたちは素直で、課題に対して一生懸命に取り組む児童が多い。また、進んでお手伝いするなど人のために行動することができる児童も少なくない。一方で、自分の思いがなかなか言えない、人の話を聞けない、周りに関心が薄く、人の気持ちを考えずに行動してしまう等といった一面も見られる時がある。このことを踏まえ、「自分も友だちも大切に 安心できる集団作り」をテーマに設定する。

集団作りのためには、自尊感情・人とかかわる力・協力する力を育てることが必要だと考える。それを念頭に置きながらテーマに迫る具体的な取り組みを進める。